二〇二〇年のオリンピック・パラリンピック競技大会東京誘致へむけた決議文

　一九四六年十月十日、澄み切った東京の青空の下、第十八回オリンピック競

技大会の開会式が霞ヶ関・国立競技場で行われた。

以来、五十年余りの歳月が流れ、その間に我が国では札幌と長野で二度のオリ

ンピック競技大会が開催された。

そして、この度東京都が二〇二〇年のオリンピック・パラリンピック競技大会

開催地として立候補した。

　オリンピック競技大会の開催は、日本社会の活性化や経済の再建への貢献に寄

与するとともに、国民とりわけ次世代を担う青少年に夢と希望をもたらすばかり

でなく、青少年のスポーツへの関心をより一層高め、我が国のスポーツ振興の原

動力となる。

　また、東日本大震災からの復興を願う私たちにとって、明確な目標と団結をも

たらすとともに、支援を寄せてくれた全世界の人々へ感謝の意を表す絶好の機会

となる。

東京都体操協会は、各加盟団体とともに、二〇二〇年オリンピック・パラリン

ピック競技大会の東京開催実現に向けて、できうる限り支援・協力をしていくこ

とを、本日ここに決議する。

平成二十四年九月十五日

　　　　　　　　　　　　　　　東京都体操協会　会長　平野　　稔